

令和5年度（2023年度）
学校関係者評価委員会 報告書

学校法人難波学園
横浜栄養専門学校

作成日 令和6年2月

点検項目

教育目標	1
教育活動「教育課程」	2
「教育課程の実施」	3
「学習指導・評価」	4
「テキスト・教材」	5
「研修」	6
学生支援	7
施設・設備	8
安全管理・防災	9
法令等の遵守	10

※普通(3.0)評価未滿については、今後の改善について記載した。

教育目標 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価	昨年度
		十分 ← 普通 → 不十分	
		5 4 3 2 1	
教育 目 標	①教育の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.1	4.0
	②教育の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.8	3.7
	③教育目標・教育計画はその達成の程度を評価するシステム(計画・実施・評価)が確立されているか	3.7	3.9

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「教育課程」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価	昨年度
			十分 ← 普通 → 不十分	
			5 4 3 2 1	
教育活動	教育課程	①教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.9	3.9
		②教育課程の編成にあたっては社会や就職先の要望が反映され、社会情勢の変化に柔軟に対応しているか	3.6	3.5
		③教育課程の編成にあたっては職業人としてのマナーやしつけ教育などに配慮しているか	3.9	3.9

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「教育課程の実施」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価					昨年度
			十分	← 普通	→	不十分		
			5	4	3	2	1	
教育活動	教育課程の実施	①授業科目の学年進行や時間配当は適当であるか	4.2					3.9
		②教員の持ち時間は過重にならないようにほぼ平均化されているか	3.5					3.4
		③授業人数は基準のとおりであり、授業形態に少人数指導、習熟度別指導が導入されているか	3.2					3.4
		④2学期制は教育活動に合致しており、長期休業や授業計画・各種行事と連動して機能しているか	4.2					4.3
		⑤関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携がとれているか	4.0					3.6

1 課題

職員から③について：そこまで行き届いていないという意見があった。

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「学習指導・評価」 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価	昨年度	
		十分 ← 普通 → 不十分		
		5 4 3 2 1		
教育活動	学習指導・評価	①授業計画書(シラバス)を作成し、学生に配布して年間学習指導計画を示しているか	4.9	5.0
		②学生の授業アンケートや授業研究の評価を生かした学習指導を行なっているか	4.2	4.1
		③成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4.5	4.5
		④学生に対する各種ガイダンスを実施しているか	4.8	4.8
		⑤成績会議は有効、適切に機能しているか	4.4	4.1
		⑥授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0	3.9
		⑦職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4.1	3.9
		⑧退学率の低減が図られているか	3.9	4.1

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

評価委員より：⑧の評価が低くなっているが、退学者が増えたのか？

本校職員：新型コロナウイルス感染症による行動制限の時と比較すると自由になり、進路変更を考える学生が増えたと感じる。欠席が増えたりした場合は個別に対応している。

本校職員：奨学金等の制度が充実しているので、経済的な面での退学者はほぼいない。また、退学するのは多くは一年次である。

評価委員より：留年はあるのか？その場合の退学率は？

本校職員：単位を落とし、留年する者もいるが、それを理由に退学することは少ない。卒業延期となっても、栄養士になりたいという意思を持っていることが多い。

教育活動「テキスト・教材」 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価					昨年度
		十分	普通			不十分	
		5	4	3	2	1	
教育活動 ・テキスト 教材	①テキストは理解しやすく学習目標の達成に合ったものになっているか	3.8					3.9
	②新しい情報もり込まれるなど実践に即した内容になっているか	3.5					3.6

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

教育活動「研修」 評価と今後の改善方法

		評価項目	自己評価					昨年度
			十分	← 普通	→	不十分		
			5	4	3	2	1	
教育活動	研修	①「授業研究・教職員研修会」を実施しているか	3.5					3.9
		②関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みがおこなわれているか	3.1					3.0

1 課題

職員から②について：外部研修会等に参加できる時間のゆとりがあるとよい、参加費用の補助などもあるとよいという意見があった。また、「先端的」となると、まだ十分ではないと感じているという意見もあった。

2 今後の改善方法

3 特記事項

評価委員より：WEB で参加できる研修等もあるので、時間をやりくりして参加したらよいのではないかと

学生支援 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価					昨年度
		十分	← 普通	→	不十分		
		5	4	3	2	1	
学生 支 援	①クラス担任制による生活指導が行なわれているか	4.7					4.4
	②学生が悩んだり、困ったりしたときに、気軽に相談に相談にのっているか	4.4					4.5
	③学校生活不適應、学業不振、問題行動などの早期発見、早期指導の組織体制が整っているか	4.4					4.2
	④学生相談(カウンセリング)体制が整備され、指導が有効に機能しているか	2.8					1.9
	⑤就職試験対策等の授業が行なわれているか	3.8					4.1
	⑥就職のための模擬面接が行われているか	3.4					3.5
	⑦就職のための個人指導が行なわれているか	4.6					4.6
	⑧大学等進学希望者のための指導が行なわれているか	3.5					3.6
	⑨求人開拓のための活動が行なわれているか	3.6					3.5
	⑩学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4.4					4.4
	⑪保護者と適切に連携しているか	4.2					4.2
	⑫卒業生への支援体制はあるか	4.3					4.6

1 課題

④姉妹校のスクールカウンセラー制度がなくなった。

職員から④について：スクールカウンセラーがいないため、不十分という意見が複数あった。

2 今後の改善方法

④今年度については、外部の専門家を招き「心の病について」というテーマで職員研修を行った。それにより職員の意識改善があった。

3 特記事項

評価委員より：カウンセラー不在の中、職員研修を行い補っている点は評価できる。

施設・設備 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価					昨年度
		十分	普通			不十分	
		5	4	3	2	1	
施設・設備	①学習目標を達成し、技能を身につけるための実習室(実験室)が整備され適切に活用されているか	3.8					3.8
	②学習目標を達成し、技能を身につけるための視聴覚教材・情報機器が整備され適切に活用されているか	3.0					2.4
	③学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.1					3.5
	④図書室は学習目標を達成させるための図書が備えられ、適切且つ十分に活用されているか	3.0					3.1

1 課題

職員から②について：まだ数が少ないという意見が複数あった。老朽化しているという意見もあった。
 職員から③について：少ないという意見があった。
 職員から④について：古い図書が多く、必要に応じて新刊を増やしていきたいという意見があった。また、十分に活用という面では、改善が必要という意見もあった。

2 今後の改善方法

3 特記事項

安全管理・防災 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価					昨年度
		十分	← 普通 →			不十分	
		5	4	3	2	1	
安全管理・防災	①校内施設設備の安全点検を定期的実施し、不備な箇所は改善をしているか	3.5					3.3
	②学校の実態に応じた危機管理マニュアルを作成し、緊急時に的確に対応できる体制が整っているか	3.2					3.3
	③不審者の侵入による緊急事態に備えた訓練を実施し、その反省を活かせるようになっているか	3.2					3.2
	④防災に対する体制は整備されているか	3.4					3.2

1 課題

職員より②、④について：事務所に人員が不足するときがあるため、手が足りなくなるという不安がある、という意見があった。職員だけの訓練も必要であるという意見もあった。

2 今後の改善方法

3 特記事項

法令等の遵守 評価と今後の改善方法

	評価項目	自己評価					昨年度
		十分	← 普通 →			不十分	
		5	4	3	2	1	
法令等の遵守	①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4.5					4.1
	②個人情報を収集する際に、その収集の目的を明らかにして、必要な範囲で収集し、利用しているか	4.1					3.9
	③個人情報の保護を行なうため統括責任者、管理者、担当者を配置し、適切な管理を行なっているか	4.2					4.0
	④自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.8					4.1
	⑤自己評価を公開しているか	3.9					3.9

1 課題

2 今後の改善方法

3 特記事項

その他の意見交換

評価委員より:今の学生は就職先に何を求めているのか?

本校職員:金銭面、休暇日数、福利厚生等、学生によって様々です。傾向としては自宅から通いたいという希望が多い。また、退職する理由は人間関係の悩みが多いと思う。

人によっては30分の残業でも苦痛に感じる場合がある。我々が今まで許容していた働き方とは、感じ方が変わってきている。楽しく稼ぎたいという希望があると感じる。就職先の希望としても、病院等でスキルアップを目指すより、休みが多く残業がない学校給食や早番等のない事業所が増えている。

評価委員より:入学理由のヒヤリングは行っているのか?

本校職員:入学試験で確認をしているが、面接用に考えてきた場合も多く、本心はわからないこともある。

評価委員より:入学時と卒業時で目標が変わっていることは多いのか?

本校職員:入学前から目標を定めている学生もいるが、漠然と「栄養士」を目指す学生も多い。入学後勉強を進めていくにつれ、目標を持つ学生が多い。また、校外実習を終えた後、目指すものがはっきりする学生もいる。

評価委員より:校外実習とは別に、インターンシップなどできないか?本人の目指す職場を経験させたい。

本校職員:授業としては定められた時間の中での実施は難しい。学生も、あまり積極的ではないと感じている。

評価委員より:就職活動の時期は早まっているのか?

本校職員:数年前に比べ、早くなっていると感じている。そのため1年次に就職ガイダンスや個人面談等を実施している。2~3月に企業の開催する説明会へ参加し、5月までに内定をもらう学生もいる。

本校職員:現在5月に実施している合同就職説明会の実施時期はどうか?

評価委員より:学生の様子にもよるが、学校の学生への働きかけで動向が変わる。早い時期の開催で、学生の意識が薄いと、説明会の意味がなくなると感じる。

本校職員:企業様は早く内定を出したいのか?

評価委員より:就職への意識を持っているかが大切。早ければよいわけではない。

評価委員より:直営施設への就職率はどうか?

本校職員:求人は殆どない。代わりに医療グループ等への就職を目指す学生がいる。医療系を目指す学生は、自宅からの通勤を希望しているが、早番等は当然と考えているものがほとんどである。